

## 今年も「ありがとう」あふれる学校に！

校長 三浦一富

3学期がスタートしました。子どもたちの元気な声が、学校に戻ってきました。

2学期末、思いがけずインフルエンザが、流行してしまいました。このため、終業式の出席は、全校の半数にも満たない人数でした。

(ご家族の方が罹患されたお宅も、多数あったと聞いております。)

それでも、ほとんどの子どもたちが冬休み中には快復し、よい年末、新年を迎えられたとのこと、本当によかったです。

そして、迎えた3学期。

### 「ありがとう」があふれる学校に！

始業式で、私から子どもたちにお願いした言葉です。ここ3年間ほど続けて、この時期、子どもたちにお願ひしてきました。

その際、各教室には、上の写真のシートを毎年掲示してもらっています。(私が、鳥取大学医学部特任教授の高塚人志先生からいただいた絵手紙を拡大したものです。)

子どもたちの記憶にも大分残っている、このシートに表現されたことを実現したいと思います。学級担任の先生方にも、次のようにお願ひしました。

小木小学校の児童、教職員合わせて百人弱です。一人が1日に10個の「ありがとう」が言えたら、1日で1,000個、1か月で30,000個の「ありがとう」が、学校、家庭、地域で響き渡ることになります。

子ども同士はもちろんですが、子どもから家族、地域の方を含めた大人へ、大人から子どもたちへ「ありがとう」があふれる学校、家庭、小木の町であってほしいと願ひます。

